

大学院 学修の成果に係る評価基準

成績

平成 23 年度(2011 年度)以降入学者

「S」「A」「B」「C」「P」および「F」「K」「X」「H」で表します。

平成 22 年度(2010 年度)以前入学者

「優」「良」「可」「合」および「不可(×・欠・不)」「否」で表します。

「S」「A」「B」「C」「P」および「優」「良」「可」「合」が合格となり、単位が付与されます。

学修状況をより分かりやすくするため、不合格を「F・K・X」あるいは「×・欠・不」のように細分化して成績通知書に記載しています。但し、「成績証明書」には、不合格科目は記載されません。

《成績の段階と評価結果について》

点数または授業・試験等の出席状況	平成 23 年度(2011 年度)以降 入学者に付与される評価 《学籍番号 11 以降》	平成 22 年度(2010 年度)以前 入学者に付与される評価 《学籍番号 10 以前》	単位について
100点～90点	「S」	「優」	単位付与
89点～80点	「A」		
79点～70点	「B」		
69点～60点	「C」	「可」	
59点～0点	「F」	「不可」	
授業を 1/3 以上欠席している者 (学則第25条) ※全欠席(学籍番号 10 以前)	「×(バツ)」	「不」 ※「×(バツ)」	単位付与 しない
試験を欠席した者	「K」	「欠」	単位付与 しない
合格	「P」	「合」	
不合格	「H」	「否」	

単位の認定について

科目を履修し、次の条件を満たせば、所定の単位が認定されます。

- ① 履修登録が確実に行われていること。
- ② 当該科目の評価(試験、レポート、平常点等)が合格点に達していること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

物理学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考	
専攻科目	基礎物理学分野	素粒子論特論 A	選択	2	1	○	
		素粒子論特論 B	選択	2	1	○	
		素粒子論演習 A	選択	2	1	○	
		素粒子論演習 B	選択	2	1	○	
		素粒子論演習 C	選択	2	2	○	
		素粒子論演習 D	選択	2	2	○	
		統計物理学特論 A	選択	2	1	○	
		統計物理学特論 B	選択	2	1	○	
		統計物理学演習 A	選択	2	1	○	
		統計物理学演習 B	選択	2	1	○	
		統計物理学演習 C	選択	2	2	○	
		統計物理学演習 D	選択	2	2	○	
		原子分子物理特論 A	選択	2	1	○	
		原子分子物理特論 B	選択	2	1	○	
		原子分子物理演習・実験 A	選択	2	1	○	
		原子分子物理演習・実験 B	選択	2	1	○	
		原子分子物理演習・実験 C	選択	2	2	○	
		原子分子物理演習・実験 D	選択	2	2	○	
	宇宙物理学分野	宇宙物理学特論 A	選択	2	1	○	
		宇宙物理学特論 B	選択	2	1	○	
		宇宙物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		宇宙物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		宇宙物理学演習・実験 C	選択	2	2	○	
		宇宙物理学演習・実験 D	選択	2	2	○	
		天体物理学特論 A	選択	2	1	○	
		天体物理学特論 B	選択	2	1	○	
		天体物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		天体物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		天体物理学演習・実験 C	選択	2	2	○	
		天体物理学演習・実験 D	選択	2	2	○	
	物性物理学分野	固体分子物性特論 A	選択	2	1	○	
		固体分子物性特論 B	選択	2	1	○	
		固体分子物性演習・実験 A	選択	2	1	○	
		固体分子物性演習・実験 B	選択	2	1	○	
		固体分子物性演習・実験 C	選択	2	2	○	
		固体分子物性演習・実験 D	選択	2	2	○	
		放射線計測学特論 A	選択	2	1	○	
		放射線計測学特論 B	選択	2	1	○	
		物性物理学特論 A	選択	2	1	○	
		物性物理学特論 B	選択	2	1	○	
		物性物理学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		物性物理学演習・実験 B	選択	2	1	○	
物性物理学演習・実験 C		選択	2	2	○		
物性物理学演習・実験 D		選択	2	2	○		
ソフトマター物理特論 A		選択	2	1	○		
ソフトマター物理特論 B		選択	2	1	○		
ソフトマター物理演習・実験 A		選択	2	1	○		
ソフトマター物理演習・実験 B		選択	2	1	○		
ソフトマター物理演習・実験 C	選択	2	2	○			
ソフトマター物理演習・実験 D	選択	2	2	○			

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
論文指導科目	論文指導	物理学研究 1	必修	2	1		
		物理学研究 2	必修	2	1		
		物理学研究 3	必修	2	2		
		物理学研究 4	必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項	
<p>○修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）</p> <p>※1. 論文指導科目「物理学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。</p> <p>※2. 「物理学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。</p> <p>○履修上の注意：科目名に A、B、C、D を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。</p>	

物理学専攻《博士後期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	基礎物理学分野	素粒子論特別講義 A	選択	2	1	
		素粒子論特別講義 B	選択	2	1	
		統計物理学特別講義 A	選択	2	1	
		統計物理学特別講義 B	選択	2	1	
		原子分子物理特別講義 A	選択	2	1	
		原子分子物理特別講義 B	選択	2	1	
	宇宙物理学分野	宇宙物理学特別講義 A	選択	2	1	
		宇宙物理学特別講義 B	選択	2	1	
		天体物理学特別講義 A	選択	2	1	
		天体物理学特別講義 B	選択	2	1	
	物性物理学分野	固体分子物性特別講義 A	選択	2	1	
		固体分子物性特別講義 B	選択	2	1	
		放射線物理特別講義 A	選択	2	1	
		放射線物理特別講義 B	選択	2	1	
		物性物理学特別講義 A	選択	2	1	
物性物理学特別講義 B		選択	2	1		
ソフトマター物理特別講義 A		選択	2	1		
ソフトマター物理特別講義 B		選択	2	1		
論文指導科目	論文指導	物理学特別研究 1	必修	2	1	
		物理学特別研究 2	必修	2	1	
		物理学特別研究 3	必修	2	2	
		物理学特別研究 4	必修	2	2	
		物理学特別研究 5	必修	2	3	
		物理学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）
- ※1. 論文指導科目「物理学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。
- ※2. 「物理学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。
- 履修上の注意：科目名に A、B を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

化学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考	
専攻科目	無機化学特論 A	選択	2	1	○		
	無機化学特論 B	選択	2	1	○		
	無機化学演習・実験 A	選択	2	2	○		
	無機化学演習・実験 B	選択	2	2	○		
	無機化学特論 C	選択	2	1	○		
	無機化学特論 D	選択	2	1	○		
	無機化学演習・実験 C	選択	2	2	○		
	無機化学演習・実験 D	選択	2	2	○		
	有機化学特論 A	選択	2	1	○		
	有機化学特論 B	選択	2	1	○		
	有機化学演習・実験 A	選択	2	2	○		
	有機化学演習・実験 B	選択	2	2	○		
	有機化学特論 C	選択	2	1	○		
	有機化学特論 D	選択	2	1	○		
	有機化学演習・実験 C	選択	2	2	○		
	有機化学演習・実験 D	選択	2	2	○		
	物理化学特論 A	選択	2	1	○		
	物理化学特論 B	選択	2	1	○		
	物理化学演習・実験 A	選択	2	2	○		
	物理化学演習・実験 B	選択	2	2	○		
	分析化学特論 A	選択	2	1	○		
	分析化学特論 B	選択	2	1	○		
	分析化学演習・実験 A	選択	2	2	○		
	分析化学演習・実験 B	選択	2	2	○		
	生化学特論 A	選択	2	1	○		
	生化学特論 B	選択	2	1	○		
	生化学演習・実験 A	選択	2	2	○		
	生化学演習・実験 B	選択	2	2	○		
	生化学特論 C	選択	2	1	○		
	生化学特論 D	選択	2	1	○		
	生化学演習・実験 C	選択	2	2	○		
	生化学演習・実験 D	選択	2	2	○		
	生物物理特論 A	選択	2	1	○		
	生物物理特論 B	選択	2	1	○		
生化学演習・実験 E	選択	2	2	○			
生化学演習・実験 F	選択	2	2	○			
論文指導科目	論文指導	化学研究 1	必修	2	1		
		化学研究 2	必修	2	1		
		化学研究 3	必修	2	2		
		化学研究 4	必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）
 ※1. 論文指導科目「化学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
 ※2. 「化学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
 ○「～演習・実験」は 2 年次に履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

化学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考	
専攻科目	錯体化学特別講義 A	選択	2	1		
	錯体化学特別講義 B	選択	2	1		
	有機合成化学特別講義 A	選択	2	1		
	有機合成化学特別講義 B	選択	2	1		
	生物有機化学特別講義 A	選択	2	1		
	生物有機化学特別講義 B	選択	2	1		
	反応物理化学特別講義 A	選択	2	1		
	反応物理化学特別講義 B	選択	2	1		
	構造生物学特別講義 A	選択	2	1		
	構造生物学特別講義 B	選択	2	1		
	分子生物化学特別講義 A	選択	2	1		
	分子生物化学特別講義 B	選択	2	1		
	機能生物化学特別講義 A	選択	2	1		
	機能生物化学特別講義 B	選択	2	1		
	機能物性化学特別講義 A	選択	2	1		
	機能物性化学特別講義 B	選択	2	1		
	構造生物化学特別講義 A	選択	2	1		
	構造生物化学特別講義 B	選択	2	1		
論文指導科目	論文指導	化学特別研究 1	必修	2	1	
		化学特別研究 2	必修	2	1	
		化学特別研究 3	必修	2	2	
		化学特別研究 4	必修	2	2	
		化学特別研究 5	必修	2	3	
		化学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）

※1. 論文指導科目「化学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。

※2. 「化学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。

○履修上の注意：科目名に A、B（または C、D）を付しているものについては、履修の順番に関する制限を原則設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

機械工学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許選択 科目	備考	
専攻科目	デザイン・ 加工分野	材料力学特論 A	選択	2	1	○	
		材料力学特論 B	選択	2	1	○	
		材料力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		材料力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		工業材料特論 A	選択	2	1	○	
		工業材料特論 B	選択	2	1	○	
		工業材料演習・実験 A	選択	2	1	○	
		工業材料演習・実験 B	選択	2	1	○	
		材料設計・強度学特論 A	選択	2	1	○	
		材料設計・強度学特論 B	選択	2	1	○	
		材料設計・強度学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		材料設計・強度学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		機械加工特論 A	選択	2	1	○	
		機械加工特論 B	選択	2	1	○	
		機械加工演習・実験 A	選択	2	1	○	
		機械加工演習・実験 B	選択	2	1	○	
	エネルギー・ 環境分野	燃焼工学特論 A	選択	2	1	○	
		燃焼工学特論 B	選択	2	1	○	
		燃焼工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		燃焼工学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		流体力学特論 A	選択	2	1	○	
		流体力学特論 B	選択	2	1	○	
		流体力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		流体力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		航空流体力学特論 A	選択	2	1	○	
		航空流体力学特論 B	選択	2	1	○	
		航空流体力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		航空流体力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		環境エネルギー変換特論	選択	2	1	○	
		環境エネルギー変換演習・実験 A	選択	2	1	○	
	環境エネルギー変換演習・実験 B	選択	2	1	○		
	システム・ 制御分野	機械力学特論 A	選択	2	1	○	
		機械力学特論 B	選択	2	1	○	
		機械力学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		機械力学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		人間工学特論	選択	2	1	○	
		振動工学特論	選択	2	1	○	
		人間工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
		人間工学演習・実験 B	選択	2	1	○	
		ロボット工学特論 A	選択	2	1	○	
		ロボット工学特論 B	選択	2	1	○	
		ロボット工学演習・実験 A	選択	2	1	○	
ロボット工学演習・実験 B		選択	2	1	○		
数理工学 分野	応用数学特論 A	選択	2	1	○		
	応用数学特論 B	選択	2	1	○		
	機械数学特論	選択	2	1	○		

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
論文指導科目	論文指導	機械工学研究 1	必修	2	1		
		機械工学研究 2	必修	2	1		
		機械工学研究 3	必修	2	2		
		機械工学研究 4	必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項
<p>○修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）</p> <p>※1. 論文指導科目「機械工学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。</p> <p>※2. 「機械工学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。</p> <p>○履修上の注意：科目名に A、B、C、D を付しているものについては、原則としてアルファベット順に履修すること。</p>

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

機械工学専攻《博士後期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	デザイン・加工分野	材料力学特別講義 A	選択	2	1	
		材料力学特別講義 B	選択	2	1	
		工業材料特別講義 A	選択	2	1	
		工業材料特別講義 B	選択	2	1	
		材料設計・強度学特別講義 A	選択	2	1	
		材料設計・強度学特別講義 B	選択	2	1	
		機械加工特別講義 A	選択	2	1	
		機械加工特別講義 B	選択	2	1	
	エネルギー・環境分野	エネルギー工学特別講義 A	選択	2	1	
		エネルギー工学特別講義 B	選択	2	1	
		環境エネルギー変換特別講義 A	選択	2	1	
		環境エネルギー変換特別講義 B	選択	2	1	
		流体力学特別講義 A	選択	2	1	
		流体力学特別講義 B	選択	2	1	
		航空流体力学特別講義 A	選択	2	1	
		航空流体力学特別講義 B	選択	2	1	
		内燃機関特別講義 A	選択	2	1	
		内燃機関特別講義 B	選択	2	1	
		熱力学特別講義 A	選択	2	1	
	熱力学特別講義 B	選択	2	1		
	システム・制御分野	ビークルダイナミクス特別講義 A	選択	2	1	
		ビークルダイナミクス特別講義 B	選択	2	1	
		人間工学特別講義 A	選択	2	1	
		人間工学特別講義 B	選択	2	1	
		ロボット工学特別講義 A	選択	2	1	
		ロボット工学特別講義 B	選択	2	1	
	論文指導科目	論文指導	機械工学特別研究 1	必修	2	1
機械工学特別研究 2			必修	2	1	
機械工学特別研究 3			必修	2	2	
機械工学特別研究 4			必修	2	2	
機械工学特別研究 5			必修	2	3	
機械工学特別研究 6			必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）
- ※1. 論文指導科目「機械工学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。
- ※2. 「機械工学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。
- 履修上の注意：科目名に A、B、C、D を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

電気工学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考		
専攻科目	基礎・共通	電気・電子回路学特論 A	選択	2	1	○		
		電気・電子回路学特論 B	選択	2	1	○		
		電気磁気学特論 A	選択	2	1	○		
		応用電気数学特論 A	選択	2	1	○		
		応用電気数学特論 B	選択	2	1	○		
		応用電気電子工学総論	選択	2	1	○		
		電気工学特論 A	選択	2	1	○		
		電気工学特論 B	選択	2	1	○		
	専門・応用	パワーエレクトロニクス特論	選択	2	1	○		
		電力工学特論	選択	2	1	○		
		電気機器学特論	選択	2	1	○		
		制御工学特論	選択	2	1	○		
		宇宙システム工学特論	選択	2	1	○		
		情報通信工学特論 A	選択	2	1	○		
		情報通信工学特論 B	選択	2	1	○		
		電磁波工学特論	選択	2	1	○		
		マイクロ波工学特論	選択	2	1	○		
		物性工学特論	選択	2	1	○		
		電子デバイス工学特論	選択	2	1	○		
	演習・実験授業	社会インフラシステム演習・実験	選択	2	1	○		
		エネルギーストレージ工学演習・実験	選択	2	1	○		
		電力工学演習・実験	選択	2	1	○		
		制御工学演習・実験	選択	2	1	○		
		先進電磁波動工学演習・実験	選択	2	1	○		
		先進電磁材料工学演習・実験	選択	2	1	○		
		超電導工学演習・実験	選択	2	1	○		
		低温工学演習・実験	選択	2	1	○		
		通信情報工学演習・実験	選択	2	1	○		
		視覚情報工学演習・実験	選択	2	1	○		
		映像情報工学演習・実験	選択	2	1	○		
	論文指導科目	論文指導	電気工学研究 1	必修	2	1		
			電気工学研究 2	必修	2	1		
電気工学研究 3			必修	2	2			
電気工学研究 4			必修	2	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）
- ※1. 論文指導科目「電気工学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※2. 「電気工学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

電気工学専攻《博士後期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	基礎・共通	応用電気電子工学特別講義	必修	2	1	
	電力・制御工学	社会インフラシステム特別講義	選択	2	1	
		エネルギーストレージ工学特別講義	選択	2	1	
		電力工学特別講義	選択	2	1	
		制御工学特別講義	選択	2	1	
		低温工学特別講義	選択	2	1	
		電気工学特別講義 A	選択	2	1	
		電気工学特別講義 B	選択	2	1	
	情報・通信工学	宇宙システム工学特別講義	選択	2	1	
		視覚情報工学特別講義	選択	2	1	
		映像情報工学特別講義	選択	2	1	
	物性・デバイス工学	物性工学特別講義	選択	2	1	
		電子デバイス工学特別講義	選択	2	1	
		プラズマ工学特別講義	選択	2	1	
		先進電磁波動工学特別講義	選択	2	1	
先進電磁材料工学特別講義		選択	2	1		
論文指導科目	論文指導	電気工学特別研究 1	必修	2	1	
		電気工学特別研究 2	必修	2	1	
		電気工学特別研究 3	必修	2	2	
		電気工学特別研究 4	必修	2	2	
		電気工学特別研究 5	必修	2	3	
		電気工学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）
- ※1. 論文指導科目「電気工学特別研究 1～6」（必修）を含む 20 単位の修得が必要。
- ※2. 「電気工学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。
- 科目名に A、B を付しているものについては、履修の順番に関する制限を設けていません。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

建築・建設工学専攻《博士前期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
専攻科目	共通分野科目	建築・建設工学総論 A	必修	2	1	○	
		建築・建設工学総論 B	必修	2	1	○	
		建築・建設工学インターンシップ	選択	4	1	○	
	建築デザイン分野科目	建築計画特論	選択	2	1	○	
		建築意匠特論	選択	2	1	○	
		建築史特論	選択	2	1	○	
		インテリアデザイン特論	選択	2	1	○	
	構造工学・材料工学分野科目	構造デザイン特論	選択	2	1	○	
		構造デザイン演習・実験	選択	2	1	○	
		鋼構造学特論	選択	2	1	○	
		鋼構造学演習・実験	選択	2	1	○	
	建設工学分野科目	地震工学特論	選択	2	1	○	
		地震工学演習・実験	選択	2	1	○	
		地盤工学特論	選択	2	1	○	
		地盤工学演習・実験	選択	2	1	○	
		防災工学特論	選択	2	1	○	
		防災工学演習・実験	選択	2	1	○	
	建築設備分野科目	建築設備学特論	選択	2	1	○	
建築設備学演習・実験		選択	2	1	○		
論文指導科目	修士論文・修士設計科目	建築・建設工学研究 1	必修	2	1		
		建築・建設工学研究 2	必修	2	1		
		建築・建設工学研究 3A (論文)	選択必修	2	2		
		建築・建設工学研究 3B (設計)	選択必修	2	2		
		建築・建設工学研究 4A (論文)	選択必修	2	2		
		建築・建設工学研究 4B (設計)	選択必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 修士論文・修士設計科目：8 単位）
- ※1. 共通分野科目の「建築・建設工学総論 A」「建築・建設工学総論 B」（必修）、修士論文・修士設計科目「建築・建設工学研究 1～4」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。
- ※2. 専攻科目の科目区分「建築デザイン分野科目」、「構造工学・材料工学分野科目」、「建設工学分野科目」、「建築設備分野科目」より選択して 18 単位以上修得すること。
- ※3. 「建築・建設工学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
 「建築・建設工学研究 3A (論文)」を履修した場合、「建築・建設工学研究 4A (論文)」を履修し、
 「建築・建設工学研究 3B (設計)」を履修した場合、「建築・建設工学研究 4B (設計)」を履修すること。
- 専修免許状取得希望の学生は「○」が付記されている免許科目より、24 単位分を修得すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

建築・建設工学専攻《博士後期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	建築デザイン 領域科目	建築計画特別講義	選択	2	1	
		建築意匠特別講義	選択	2	1	
		建築史特別講義	選択	2	1	
		構造デザイン特別講義	選択	2	1	
		インテリアデザイン特別講義	選択	2	1	
	構造工学・ 材料工学 領域科目	鋼構造学特別講義	選択	2	1	
		地震工学特別講義	選択	2	1	
		地盤工学特別講義	選択	2	1	
		防災工学特別講義	選択	2	1	
	建築設備学 領域科目	建築設備学特別講義	選択	2	1	
論文指導科目	博士論文 科目	建築・建設工学特別研究 1	必修	2	1	
		建築・建設工学特別研究 2	必修	2	1	
		建築・建設工学特別研究 3	必修	2	2	
		建築・建設工学特別研究 4	必修	2	2	
		建築・建設工学特別研究 5	必修	2	3	
		建築・建設工学特別研究 6	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 博士論文科目：12 単位）

※1. 「建築・建設工学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

環境システム学専攻《博士前期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
専攻科目	共通科目	環境システム学総論	必修	2	1	○	
		環境統計解析	選択	2	1	○	
		地球環境科学	選択	2	1	○	
		総合学外実習	選択	2	1		
	基盤科目 (環境情報系)	都市システム総論	選択	2	1	○	
		大気科学特論	選択	2	1	○	
	基盤科目 (環境技術系)	環境化学特論	選択	2	1	○	
		微生物学特論	選択	2	1	○	
	専門科目 (環境情報系)	都市環境計画特論	選択	2	1	○	
		都市環境計画演習	選択	2	1	○	
		環境評価特論	選択	2	1	○	
		環境評価演習	選択	2	1	○	
		気象・熱環境学特論	選択	2	1	○	
		気象・熱環境学演習・実験	選択	2	1	○	
		大気環境解析特論	選択	2	1	○	
		大気環境解析演習・実験	選択	2	1	○	
	専門科目 (環境技術系)	水環境・バイオプロセス特論	選択	2	1	○	
		水環境・バイオプロセス演習・実験	選択	2	1	○	
		廃棄物管理・循環資源化特論	選択	2	1	○	
		廃棄物管理演習・実験	選択	2	1	○	
		環境微生物学特論	選択	2	1	○	
		環境微生物演習・実験	選択	2	1	○	
		環境機器分析演習・実験	選択	2	1	○	
		環境バイオマテリアル特論	選択	2	1	○	
	環境バイオマテリアル演習・実験	選択	2	1	○		
	論文指導科目	環境システム学研究 1	必修	2	1		
		環境システム学研究 2	必修	2	1		
		環境システム学研究 3	必修	2	2		
環境システム学研究 4		必修	2	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）
- ※1. 共通科目の「環境システム学総論」（必修）、論文指導科目「環境システム学研究 1～4」を含む 30 単位の修得が必要。
- ※2. 「環境システム学研究 1～4」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 2 年間で履修すること。
- 専修免許状取得希望の学生は「○」が付記されている免許科目より、24 単位分を修得すること。

理工学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

環境システム学専攻《博士後期課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	共通科目	総合学外実習 (後期課程)	選択	2	1	
	専門科目 (環境情報系)	都市環境計画特別講義	選択	2	1	
		環境評価特別講義	選択	2	1	
		気象・熱環境学特別講義	選択	2	1	
	専門科目 (環境技術系)	大気環境解析特別講義	選択	2	1	
		水環境・バイオプロセス特別講義	選択	2	1	
		資源廃棄物学特別講義	選択	2	1	
		環境微生物学特別講義	選択	2	1	
		環境機器分析特別講義	選択	2	1	
	論文指導科目	博士論文科目	環境システム学特別研究 1	必修	2	1
環境システム学特別研究 2			必修	2	1	
環境システム学特別研究 3			必修	2	2	
環境システム学特別研究 4			必修	2	2	
環境システム学特別研究 5			必修	2	3	
環境システム学特別研究 6			必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位 (専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位)

※1. 論文指導科目「環境システム学特別研究 1～6 (必修) を含む 20 単位の修得が必要。

※2. 「環境システム学特別研究 1～6」は、研究指導教員の授業を数字の小さい順に 3 年間で履修すること。

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

英米文学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
専攻科目	異文化特別研究 a	選択	2	1	○	
	異文化特別研究 b	選択	2	1	○	
	異文化特別研究 c	選択	2	1	○	
	異文化特別研究 d	選択	2	1	○	
	異文化特別研究 e	選択	2	1	○	
	異文化特別研究 f	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 a	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 b	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 c	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 d	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 e	選択	2	1	○	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 f	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 a	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 b	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 c	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 d	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 e	選択	2	1	○	
	英米文化特別研究 f	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 a	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 b	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 c	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 d	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 e	選択	2	1	○	
	現代英語統語論 f	選択	2	1	○	
	談話分析 a	選択	2	1	○	
	談話分析 b	選択	2	1	○	
	談話分析 c	選択	2	1	○	
	談話分析 d	選択	2	1	○	
	外国語教育 a	選択	2	1	○	
	外国語教育 b	選択	2	1	○	
	外国語教育 c	選択	2	1	○	
	外国語教育 d	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 a	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 b	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 c	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 d	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 e	選択	2	1	○	
	比較文化特別研究 f	選択	2	1	○	

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
専攻科目	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) a	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) b	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) c	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) d	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) e	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅰ(教授法) f	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) a	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) b	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) c	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) d	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) e	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅱ(教育理論) f	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) a	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) b	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) c	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) d	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) e	選択	2	1	○	
	英語教育特別研究Ⅲ(カリキュラム開発) f	選択	2	1	○	
	Special Topics in English a	選択	2	1	○	
	Special Topics in English b	選択	2	1	○	
	Academic Writing a	選択	1	1	○	
	Academic Writing b	選択	1	1	○	
	国際関係特別研究 a	選択	2	1	○	
	国際関係特別研究 b	選択	2	1	○	
国際関係特別研究 c	選択	2	1	○		
国際関係特別研究 d	選択	2	1	○		
論文指導科目	博士前期研究指導Ⅰa	必修	1	1		
	博士前期研究指導Ⅰb	必修	1	1		
	博士前期研究指導Ⅱa	必修	1	2		
	博士前期研究指導Ⅱb	必修	1	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：26 単位以上 論文指導科目：4 単位）

※1. 論文指導科目「博士前期研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb」（必修）を含む 30 単位の修得が必要。

※2. 論文指導科目「博士前期研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb」は、研究指導教員の授業を順次 2 年間で履修すること。
 ○a、b、c、d の付随する科目は、年度ごとに順次開講します。（例：本年度 a、b を開講ならば、次年度は c、d を開講）

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

英米文学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	異文化特別研究 a	選択	2	1	
	異文化特別研究 b	選択	2	1	
	異文化特別研究 c	選択	2	1	
	異文化特別研究 d	選択	2	1	
	異文化特別研究 e	選択	2	1	
	異文化特別研究 f	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 a	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 b	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 c	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 d	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 e	選択	2	1	
	イギリス・ルネサンス演劇研究 f	選択	2	1	
	英米文化特別研究 a	選択	2	1	
	英米文化特別研究 b	選択	2	1	
	英米文化特別研究 c	選択	2	1	
	英米文化特別研究 d	選択	2	1	
	英米文化特別研究 e	選択	2	1	
	英米文化特別研究 f	選択	2	1	
	現代英語統語論 a	選択	2	1	
	現代英語統語論 b	選択	2	1	
	現代英語統語論 c	選択	2	1	
	現代英語統語論 d	選択	2	1	
	現代英語統語論 e	選択	2	1	
	現代英語統語論 f	選択	2	1	
	談話分析 a	選択	2	1	
	談話分析 b	選択	2	1	
	談話分析 c	選択	2	1	
	談話分析 d	選択	2	1	
	外国語教育 a	選択	2	1	
	外国語教育 b	選択	2	1	
	外国語教育 c	選択	2	1	
	外国語教育 d	選択	2	1	
	比較文化特別研究 a	選択	2	1	
	比較文化特別研究 b	選択	2	1	
	比較文化特別研究 c	選択	2	1	
	比較文化特別研究 d	選択	2	1	
	比較文化特別研究 e	選択	2	1	
	比較文化特別研究 f	選択	2	1	

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）a	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）b	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）c	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）d	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）e	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅰ（教授法）f	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）a	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）b	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）c	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）d	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）e	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅱ（教育理論）f	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）a	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）b	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）c	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）d	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）e	選択	2	1	
	英語教育特別研究Ⅲ（カリキュラム開発）f	選択	2	1	
	Special Topics in English a	選択	2	1	
	Special Topics in English b	選択	2	1	
	Academic Writing a	選択	1	1	
	Academic Writing b	選択	1	1	
	国際関係特別研究 a	選択	2	1	
	国際関係特別研究 b	選択	2	1	
国際関係特別研究 c	選択	2	1		
国際関係特別研究 d	選択	2	1		
論文指導科目	博士後期研究指導Ⅰa	必修	2	1	
	博士後期研究指導Ⅰb	必修	2	1	
	博士後期研究指導Ⅱa	必修	2	1	
	博士後期研究指導Ⅱb	必修	2	1	
	博士後期研究指導Ⅲa	必修	2	1	
	博士後期研究指導Ⅲb	必修	2	1	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：12 単位（論文指導科目：12 単位）

※1. 論文指導科目「博士後期研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb」（必修）12 単位の修得が必要。

※2. 論文指導科目「博士後期研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb」は、研究指導教員の授業を順次 3 年間で履修すること。

Oa、b、c、d の付随する科目は、年度ごとに順次開講します。（例：本年度に a、b を開講ならば、次年度は c、d を開講）

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

社会学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考	
専攻科目	社会学コース	現代社会理論研究 a	選択	2	1	○	
		現代社会理論研究 b	選択	2	1	○	
		家族社会学研究 a	選択	2	1		
		家族社会学研究 b	選択	2	1		
		教育社会学研究 a	選択	2	1		
		教育社会学研究 b	選択	2	1		
		地域社会学研究 a	選択	2	1	○	
		地域社会学研究 b	選択	2	1	○	
		産業・労働社会学研究 a	選択	2	1	○	
		産業・労働社会学研究 b	選択	2	1	○	
		情報社会研究 a	選択	2	1	○	
		情報社会研究 b	選択	2	1	○	
		政治社会学研究 a	選択	2	1	○	
		政治社会学研究 b	選択	2	1	○	
		地域政策研究 a	選択	2	1	○	
		地域政策研究 b	選択	2	1	○	
		社会政策研究 a	選択	2	1	○	
		社会政策研究 b	選択	2	1	○	
		社会調査研究Ⅰ (調査企画・設計)	選択	2	1	○	
		社会調査研究Ⅱ (多変量解析)	選択	2	1		
	社会調査研究Ⅲ (質的調査法)	選択	2	1	○		
	社会福祉学コース	生活問題研究 a	選択	2	1		
		生活問題研究 b	選択	2	1		
		子ども家庭福祉研究 a	選択	2	1		
		子ども家庭福祉研究 b	選択	2	1		
		高齢者福祉研究 a	選択	2	1		
		高齢者福祉研究 b	選択	2	1		
		障害学研究 a	選択	2	1		
		障害学研究 b	選択	2	1		
		精神保健福祉研究 a	選択	2	1		
		精神保健福祉研究 b	選択	2	1		
		相談援助研究 a	選択	2	1		
		相談援助研究 b	選択	2	1		
社会福祉発達史研究 a		選択	2	1			
社会福祉発達史研究 b	選択	2	1				
異文化福祉研究 a	選択	2	1				
異文化福祉研究 b	選択	2	1				
福祉工学研究 a	選択	2	1				
福祉工学研究 b	選択	2	1				

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	備考
論文指導科目	社会学コース	社会学研究指導Ⅰa	選択必修	2	1		
		社会学研究指導Ⅰb	選択必修	2	1		
		社会学研究指導Ⅱa	選択必修	2	2		
		社会学研究指導Ⅱb	選択必修	2	2		
	社会福祉学コース	社会福祉学研究指導Ⅰa	選択必修	2	1		
		社会福祉学研究指導Ⅰb	選択必修	2	1		
		社会福祉学研究指導Ⅱa	選択必修	2	2		
		社会福祉学研究指導Ⅱb	選択必修	2	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位、論文指導科目：8 単位）

※1. 論文指導科目は、社会学コースは「社会学研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb」を、
社会福祉学コースは「社会福祉学研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb」を選択すること。

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

社会学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考	
専攻科目	社会学 コース	現代社会理論特殊研究 a	選択	2	1	
		現代社会理論特殊研究 b	選択	2	1	
		家族社会学特殊研究 a	選択	2	1	
		家族社会学特殊研究 b	選択	2	1	
		教育社会学特殊研究 a	選択	2	1	
		教育社会学特殊研究 b	選択	2	1	
		地域政策特殊研究 a	選択	2	1	
		地域政策特殊研究 b	選択	2	1	
		産業・労働社会学特殊研究 a	選択	2	1	
		産業・労働社会学特殊研究 b	選択	2	1	
		情報社会特殊研究 a	選択	2	1	
		情報社会特殊研究 b	選択	2	1	
		政治社会学特殊研究 a	選択	2	1	
		政治社会学特殊研究 b	選択	2	1	
		地域社会学特殊研究 a	選択	2	1	
		地域社会学特殊研究 b	選択	2	1	
		社会政策特殊研究 a	選択	2	1	
		社会政策特殊研究 b	選択	2	1	
		社会調査特殊研究Ⅰ (調査企画・設計)	選択	2	1	
		社会調査特殊研究Ⅱ (多変量解析)	選択	2	1	
	社会調査特殊研究Ⅲ (質的調査法)	選択	2	1		
	社会福祉学 コース	生活問題特殊研究 a	選択	2	1	
		生活問題特殊研究 b	選択	2	1	
		子ども家庭福祉特殊研究 a	選択	2	1	
		子ども家庭福祉特殊研究 b	選択	2	1	
		高齢者福祉特殊研究 a	選択	2	1	
		高齢者福祉特殊研究 b	選択	2	1	
		障害学特殊研究 a	選択	2	1	
		障害学特殊研究 b	選択	2	1	
		精神保健福祉特殊研究 a	選択	2	1	
		精神保健福祉特殊研究 b	選択	2	1	
		相談援助特殊研究 a	選択	2	1	
		相談援助特殊研究 b	選択	2	1	
		社会福祉発達史特殊研究 a	選択	2	1	
		社会福祉発達史特殊研究 b	選択	2	1	
		異文化福祉特殊研究 a	選択	2	1	
異文化福祉特殊研究 b		選択	2	1		
福祉工学特殊研究 a	選択	2	1			
福祉工学特殊研究 b	選択	2	1			

科目区分		平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
論文指導科目	社会学コース	社会学特殊研究指導Ⅰa	選択必修	2	1	
		社会学特殊研究指導Ⅰb	選択必修	2	1	
		社会学特殊研究指導Ⅱa	選択必修	2	2	
		社会学特殊研究指導Ⅱb	選択必修	2	2	
		社会学特殊研究指導Ⅲa	選択必修	2	3	
		社会学特殊研究指導Ⅲb	選択必修	2	3	
	社会福祉学コース	社会福祉学特殊研究指導Ⅰa	選択必修	2	1	
		社会福祉学特殊研究指導Ⅰb	選択必修	2	1	
		社会福祉学特殊研究指導Ⅱa	選択必修	2	2	
		社会福祉学特殊研究指導Ⅱb	選択必修	2	2	
		社会福祉学特殊研究指導Ⅲa	選択必修	2	3	
		社会福祉学特殊研究指導Ⅲb	選択必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：12 単位（論文指導科目：12 単位）

※1. 論文指導科目は、社会学コースは「社会学特殊研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb」を、社会福祉学コースは「社会福祉学特殊研究指導Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲb」を選択すること。

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

心理学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	博士前期課程修了に必要な単位数		備考		
						臨床心理学コース	一般心理学コース			
専攻科目	臨床心理学特論 A	所属コースにより異なる	2	1	○	16 単位 (必修)		*A→Bの順で受講すること。		
	臨床心理学特論 B		2	1	○					
	臨床心理面接特論 A (心理支援に関する理論と実践)		2	1						
	臨床心理面接特論 B		2	1	○					
	臨床心理査定演習 A(心理的アセスメントに関する理論と実践)		2	1						
	臨床心理査定演習 B		2	1	○					
	臨床心理基礎実習 A		1	1	○					
	臨床心理基礎実習 B		1	1	○					
	臨床心理学特別実習 A		1	2	○					
	臨床心理学特別実習 B		1	2	○					
	臨床心理実習 I A (心理実践実習 I)	選択	1	2		2 単位 以上				
	臨床心理実習 I B (心理実践実習 II)	選択	1	2						
	臨床心理実習 II A	選択	1	2	○					
	臨床心理実習 II B	選択	1	2	○					
	心理学研究法特論 A	選択	2	1	○	2 単位 以上				
	心理学研究法特論 B	選択	2	1	○					
	心理統計法特論 A	選択	2	1	○	2 単位 以上				
	心理統計法特論 B	選択	2	1	○					
	発達心理学特論 A	選択	2	1	○					
	発達心理学特論 B	選択	2	1	○					
	学習心理学特論 A	選択	2	1	○					
	学習心理学特論 B	選択	2	1	○					
	認知心理学特論 A	選択	2	1	○					
	認知心理学特論 B	選択	2	1	○					
	教育心理学特論 A	選択	2	1	○					
	教育心理学特論 B	選択	2	1	○					
	社会心理学特論 A	選択	2	1	○	2 単位 以上				
	社会心理学特論 B	選択	2	1	○					
	産業・組織心理学特論 A (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1						
	産業・組織心理学特論 B	選択	2	1						
	社会病理学特論 A (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1						
	社会病理学特論 B	選択	2	1	○					
	家族心理学特論 A	選択	2	1	○					
	家族心理学特論 B	選択	2	1	○					
	神経心理学特論 A	選択	2	1	○					
	神経心理学特論 B	選択	2	1	○					
	障害児心理学特論 A(福祉分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1		2 単位 以上				
	障害児心理学特論 B	選択	2	1	○					
	心身医学特論 A	選択	2	1	○					
	心身医学特論 B	選択	2	1	○					
	精神医学特論 A(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1						
	精神医学特論 B	選択	2	1	○					
	発達臨床心理学特論 A	選択	2	1	○					
	発達臨床心理学特論 B	選択	2	1	○					
	投影法特論 A	選択	2	2	○				2 単位 以上	
投影法特論 B	選択	2	2	○						
心理療法特論 A	選択	2	1	○						
心理療法特論 B	選択	2	1	○						
学校臨床心理学特論 B	選択	2	1	○						
学校臨床心理学特論 A(教育分野に関する理論と支援の展開)	選択	2	1							
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	選択	2	1							
心の健康教育に関する理論と実践	選択	2	1							

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	免許選択科目	博士前期課程修了に必要な単位数		備考
						臨床心理学コース	一般心理学コース	
論文指導科目	心理学特別研究 I A	所属コースにより異なる	2	1		/	8 単位 (必修)	
	心理学特別研究 I B		2	1				
	心理学特別研究 II A		2	2				
	心理学特別研究 II B		2	2				
	臨床心理学特別研究 I A		2	1		8 単位 (必修)	/	
	臨床心理学特別研究 I B		2	1				
	臨床心理学特別研究 II A		2	2				
	臨床心理学特別研究 II B		2	2				

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数
博士前期課程の院生は、「心理学特別研究 I、II」あるいは「臨床心理学特別研究 I、II」を含む 30 単位を修得すること。
- 履修上の注意
所属するコース（「臨床心理学コース」「一般心理学コース」）によって、博士前期課程修了に必要な科目・単位数がそれぞれ定められているので、必ず確認した上で履修すること。博士前期課程の「一般心理学コース」の院生は「心理学特別研究 I、II」を履修すること。

人文学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

心理学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
論文指導科目	心理学特別研究ⅢA	必修	2	1	
	心理学特別研究ⅢB	必修	2	1	
	心理学特別研究ⅣA	必修	2	2	
	心理学特別研究ⅣB	必修	2	2	
	心理学特別研究ⅤA	必修	2	3	
	心理学特別研究ⅤB	必修	2	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数
 博士後期課程の院生は、「心理学特別研究ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB、ⅤA、ⅤB」の論文指導科目 12 単位を修得すること。

経済学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

応用経済学専攻《修士課程》

科目区分		平成 30 (2018) 年度科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
専攻科目	コア科目	マクロ経済学	選択必修	2	1	2科目 4単位 以上 修得する こと。
		ミクロ経済学	選択必修	2	1	
		計量経済学	選択必修	2	1	
		経済数学	選択必修	2	1	
	応用科目	応用マクロ経済学	選択	2	1	22単位以上 修得すること。
		応用ミクロ経済学	選択	2	1	
		応用計量経済学	選択	2	1	
		計量経済学実習	選択	2	1	
		国際地域開発論	選択	2	1	
		国際地域市場開発論	選択	2	1	
		環境経済学	選択	2	1	
		環境政策論	選択	2	1	
		現代社会政策論	選択	2	1	
		地方財政論	選択	2	1	
		会計学	選択	2	1	
		環境会計論	選択	2	1	
		応用金融経済論 A	選択	2	1	
		応用金融経済論 B	選択	2	1	
		金融組織と市場構造 A	選択	2	1	
		金融組織と市場構造 B	選択	2	1	
		流通経済論	選択	2	1	
		マーケティング論	選択	2	1	
		ベンチャー企業論	選択	2	1	
		国際租税法総論	選択	2	1	
		国際租税法各論	選択	2	1	
		労働経済学	選択	2	1	
		租税法総論	選択	2	1	
		租税法各論	選択	2	1	
		経済学専門文献ベーシック A	選択	2	1	
		経済学専門文献ベーシック B	選択	2	1	
		地域産業論	選択	2	1	
		財務諸表論	選択	2	1	
消費税法	選択	2	1			
東アジア経済論	選択	2	1			
リーガルリサーチ	選択	2	1			
国税通則法	選択	2	1			

科目区分		平成 30 (2018) 年度科目名	必修選択区分	単位	学年	備考		
論文指導科目	経済学研究演習	応用経済学演習 I	マクロ経済学・応用マクロ経済学研究指導 A	選択必修	2	1	2 単位 修得すること。	
			ミクロ経済学・応用ミクロ経済学研究指導 A	選択必修	2	1		
			計量経済学・応用計量経済学研究指導 A	選択必修	2	1		
			国際地域開発論研究指導 A	選択必修	2	1		
			税法研究指導 A	選択必修	2	1		
			応用金融経済論研究指導 A	選択必修	2	1		
			会計学研究指導 A	選択必修	2	1		
			流通・マーケティング論研究指導 A	選択必修	2	1		
			環境経済学研究指導 A	選択必修	2	1		
			現代社会政策論研究指導 A	選択必修	2	1		
			ベンチャー企業論研究指導 A	選択必修	2	1		
			国際租税法研究指導 A	選択必修	2	1		
			労働経済学研究指導 A	選択必修	2	1		
			産業経済論研究指導 A	選択必修	2	1		
			経済政策研究指導 A	選択必修	2	1		
			財政金融政策研究指導 A	選択必修	2	1		
			財務会計論研究指導 A	選択必修	2	1		
			マクロ経済学・応用マクロ経済学研究指導 B	選択必修	2	1		2 単位 修得すること。
			ミクロ経済学・応用ミクロ経済学研究指導 B	選択必修	2	1		
			計量経済学・応用計量経済学研究指導 B	選択必修	2	1		
			国際地域開発論研究指導 B	選択必修	2	1		
			税法研究指導 B	選択必修	2	1		
			応用金融経済論研究指導 B	選択必修	2	1		
			会計学研究指導 B	選択必修	2	1		
		流通・マーケティング論研究指導 B	選択必修	2	1			
		環境経済学研究指導 B	選択必修	2	1			
		現代社会政策論研究指導 B	選択必修	2	1			
		ベンチャー企業論研究指導 B	選択必修	2	1			
		国際租税法研究指導 B	選択必修	2	1			
		労働経済学研究指導 B	選択必修	2	1			
		産業経済論研究指導 B	選択必修	2	1			
		経済政策研究指導 B	選択必修	2	1			
		財政金融政策研究指導 B	選択必修	2	1			
		財務会計論研究指導 B	選択必修	2	1			

科目区分		平成 30 (2018) 年度科目名	必修選択区分	単位	学年	備考
論文指導科目	経済学研究演習 応用経済学演習 II	マクロ経済学・応用マクロ経済学論文指導 A	選択必修	2	2	2 単位 修得すること。
		ミクロ経済学・応用ミクロ経済学論文指導 A	選択必修	2	2	
		計量経済学・応用計量経済学論文指導 A	選択必修	2	2	
		国際地域開発論論文指導 A	選択必修	2	2	
		税法論文指導 A	選択必修	2	2	
		応用金融経済論論文指導 A	選択必修	2	2	
		会計学論文指導 A	選択必修	2	2	
		流通・マーケティング論論文指導 A	選択必修	2	2	
		環境経済学論文指導 A	選択必修	2	2	
		現代社会政策論論文指導 A	選択必修	2	2	
		ベンチャー企業論論文指導 A	選択必修	2	2	
		国際租税法論文指導 A	選択必修	2	2	
		労働経済学論文指導 A	選択必修	2	2	
		産業経済論論文指導 A	選択必修	2	2	
		経済政策論文指導 A	選択必修	2	2	
		財政金融政策論文指導 A	選択必修	2	2	
		財務会計論論文指導 A	選択必修	2	2	
		マクロ経済学・応用マクロ経済学論文指導 B	選択必修	2	2	
		ミクロ経済学・応用ミクロ経済学論文指導 B	選択必修	2	2	
		計量経済学・応用計量経済学論文指導 B	選択必修	2	2	
		国際地域開発論論文指導 B	選択必修	2	2	
		税法論文指導 B	選択必修	2	2	
		応用金融経済論論文指導 B	選択必修	2	2	
		会計学論文指導 B	選択必修	2	2	
		流通・マーケティング論論文指導 B	選択必修	2	2	
		環境経済学論文指導 B	選択必修	2	2	
		現代社会政策論論文指導 B	選択必修	2	2	
		ベンチャー企業論論文指導 B	選択必修	2	2	
国際租税法論文指導 B	選択必修	2	2			
労働経済学論文指導 B	選択必修	2	2			
産業経済論論文指導 B	選択必修	2	2			
経済政策論文指導 B	選択必修	2	2			
財政金融政策論文指導 B	選択必修	2	2			
財務会計論論文指導 B	選択必修	2	2			

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：30 単位（経済学研究特論を 22 単位：そのうちコア科目を最低 2 科目 4 単位、経済学研究演習・応用経済学演習 I および経済学研究演習・応用経済学演習 II をそれぞれ 4 単位）
 ※1. 研究指導教員の科目を順次履修すること。

情報学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

情報学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許 選択 科目	備考
専攻科目	コンピュータアーキテクチャ特論 I	選択	2	1	○	
	コンピュータアーキテクチャ演習 I	選択	1	1	○	
	情報ネットワーク特論 I	選択	2	1	○	
	情報ネットワーク演習 I	選択	1	1	○	
	ネットワークソフトウェア特論 I	選択	2	1	○	
	ネットワークソフトウェア演習 I	選択	1	1	○	
	応用ネットワーク特論 I	選択	2	1	○	
	応用ネットワーク演習 I	選択	1	1	○	
	計算科学特論 I	選択	2	1	○	
	計算科学演習 I	選択	1	1	○	
	数物情報特論 I	選択	2	1	○	
	数物情報演習 I	選択	1	1	○	
	組合せデザイン論 I	選択	2	1	○	
	組合せデザイン論演習 I	選択	1	1	○	
	プログラミング言語 I	選択	2	1	○	
	プログラミング言語演習 I	選択	1	1	○	
	情報システム設計論 I	選択	2	1	○	
	情報システム設計演習 I	選択	1	1	○	
	計算言語学 I	選択	2	1	○	
	計算言語学演習 I	選択	1	1	○	
	画像情報処理 I	選択	2	1	○	
	画像情報処理演習 I	選択	1	1	○	
	ヒューマンコンピュータインタラクション I	選択	2	1	○	
	ヒューマンコンピュータインタラクション演習 I	選択	1	1	○	
	イメージ情報学論 I	選択	2	1	○	
	イメージ情報学演習 I	選択	1	1	○	
	情報音楽特論 I	選択	2	1	○	
	情報音楽特論演習 I	選択	1	1	○	
	生体情報工学論 I	選択	2	1	○	
	生体情報工学演習 I	選択	1	1	○	

目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	免許 選択 科目	備考
論文指導科目	情報学特別輪講 I	必修	2	1		
	情報学特別演習 I	必修	4	1		
	情報学特別実験 I	必修	6	2		

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：18 単位以上 論文指導科目：12 単位）
- ※1. 論文指導科目「情報学特別輪講 I」「情報学特別演習 I」「情報学特別実験 I」は、配当学年に従って順次履修すること。
- ※2. 研究指導教員の科目を履修すること。

情報学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

情報学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	コンピュータアーキテクチャ特論Ⅱ	選択	2	1	
	コンピュータアーキテクチャ演習Ⅱ	選択	1	1	
	組合せデザイン論Ⅱ	選択	2	1	
	組合せデザイン論演習Ⅱ	選択	1	1	
	計算言語学Ⅱ	選択	2	1	
	計算言語学演習Ⅱ	選択	1	1	
	ヒューマンコンピュータインタラクションⅡ	選択	2	1	
	ヒューマンコンピュータインタラクション演習Ⅱ	選択	1	1	
	生体情報工学論Ⅱ	選択	2	1	
生体情報工学演習Ⅱ	選択	1	1		
論文指導科目	情報学特別輪講Ⅱ	必修	2	1	
	情報学特別演習Ⅱ	必修	4	2	
	情報学特別実験Ⅱ	必修	6	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

○修了に必要な単位数：20 単位（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）

※1. 論文指導科目「情報学特別輪講Ⅱ」「情報学特別演習Ⅱ」「情報学特別実験Ⅱ」は、配当学年に従って順次履修すること。

※2. 研究指導教員の科目を履修すること。

教育学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

教育学専攻《博士前期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	教育学文献研究 1A (西洋教育史)	選択	2	1	
	教育学文献研究 2A (西洋教育史)	選択	2	1	
	教育学文献研究 1B (日本教育史)	選択	2	1	
	教育学文献研究 2B (日本教育史)	選択	2	1	
	教育学文献研究 1C (教育思想)	選択	2	1	
	教育学文献研究 2C (教育思想)	選択	2	1	
	教育学調査研究 A (教育職)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1B (教育方法)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2B (教育方法)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1C (教育課程)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2C (教育課程)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1D (教育心理)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2D (教育心理)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1E (教育行財政)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2E (教育行財政)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1F (教育相談)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2F (教育相談)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1G (臨床教育)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2G (臨床教育)	選択	2	1	
	教育学調査研究 1H (生涯学習)	選択	2	1	
	教育学調査研究 2H (生涯学習)	選択	2	1	
	幼児教育学研究 1A (保育課程・指導法)	選択	2	1	
	幼児教育学研究 2A (保育課程・指導法)	選択	2	1	
	幼児教育学研究 1B (保育内容)	選択	2	1	
	幼児教育学研究 2B (保育内容)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 1A (障害児者教育理論)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 2A (障害児者教育理論)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 1B (障害児者発達・心理)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 2B (障害児者発達・心理)	選択	2	1	オムニバス
	障害児者教育学研究 1C (障害児者教育課程)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 2C (障害児者教育課程)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 D (知的障害児者教育方法)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 E (肢体不自由児者教育方法)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 F (病弱児者教育方法)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 G (発達障害児者教育方法)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 1H (発達障害)	選択	2	1	
	障害児者教育学研究 2H (発達障害の病理)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1A (国語科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2A (国語科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1B (社会科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2B (社会科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1C (数学科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2C (数学科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1D (理科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2D (理科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1E (音楽科教育)	選択	2	1	
教科教育学研究 2E (音楽科教育)	選択	2	1		

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修選択 区分	単位	学年	備考
専攻科目	教科教育学研究 1F (美術科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2F (美術科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1G (保健体育科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2G (保健体育科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 1H (英語科教育)	選択	2	1	
	教科教育学研究 2H (英語科教育)	選択	2	1	
論文指導科目	教育学演習 I	必修	4	1	
	教育学演習 II	必修	4	2	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：30 単位（専攻科目：22 単位以上 論文指導科目：8 単位）
 教育職員免許状の種類によって履修する科目が異なります。詳しくは「11-6 教育職員免許状を取得するためには」を参照してください。
- ※1 研究指導教員の科目を順次履修すること。

教育学研究科 授業科目の類別及び修了に必要な単位数

教育学専攻《博士後期課程》

科目区分	平成 30 (2018) 年度 科目名	必修 選択 区分	単 位	学 年	備考
専攻科目	教育学文献特殊研究 1A (西洋教育史)	選択	2	1	
	教育学文献特殊研究 2A (西洋教育史)	選択	2	1	
	教育学文献特殊研究 1B (日本教育史)	選択	2	1	
	教育学文献特殊研究 2B (日本教育史)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 1A (教育課程)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 2A (教育課程)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 1B (教育心理)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 2B (教育心理)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 1C (教育行財政)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 2C (教育行財政)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 1D (臨床教育)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 2D (臨床教育)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 1E (生涯教育)	選択	2	1	
	教育学調査特殊研究 2E (生涯教育)	選択	2	1	
	幼児教育学特殊研究 1	選択	2	1	
	幼児教育学特殊研究 2	選択	2	1	
	障害児者教育学特殊研究 1	選択	2	1	
	障害児者教育学特殊研究 2	選択	2	1	
	教科教育学特殊研究 1	選択	2	1	
	教科教育学特殊研究 2	選択	2	1	
論文指導科目	教育学特殊演習Ⅰ	必修	4	1	
	教育学特殊演習Ⅱ	必修	4	2	
	教育学特殊演習Ⅲ	必修	4	3	

修了に必要な単位数および履修上の注意事項

- 修了に必要な単位数：20 単位以上（専攻科目：8 単位以上 論文指導科目：12 単位）
- ※1 論文指導科目「教育学特殊演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（必修）を含む 20 単位以上の修得が必要。
- ※2 研究指導教員の科目を順次履修すること。